

令和5年9月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(令和5年度9月補正予算等関係)

農 林 水 産 部

トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

令和5年9月定例会議案説明資料目次

農 林 水 産 部

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 1 号	令和5年度鳥取県一般会計補正予算(第4号)		
	1 補正予算説明資料	(総括表)	3
		生産振興課	4
		農地・水保全課	5
		畜産振興課	8
		県産材・林産振興課	9
		水産振興課	11
		販路拡大・輸出促進課	13
	2 公共事業補正予算総括表	農地・水保全課 県産材・林産振興課	14
	3 歳入歳出事項別明細書		22
	4 節の明細		29
	5 繰越明許費に関する調書	県産材・林産振興課	30

【予算関係以外】

報告番号	件 名	課 名 等	頁
第 1 号	議会の委任による専決処分の報告について (1)損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について(令和5年8月31日専決)	農 林 水 産 政 策 課	32

議案説明資料総括表

農林水産部(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	財源内訳				備考
				国庫	起債	その他	一般財源	
生産振興課	1,773,307	24,000	1,797,307				24,000	
農地・水保全課	6,564,861	6,350,000	12,914,861	6,268,500	22,000		59,500	
畜産振興課	2,168,572	37,400	2,205,972		22,000		15,400	
県産材・林産振興課	3,310,729	4,624,500	7,935,229	4,428,100	99,000		97,400	
水産振興課	1,644,795	31,966	1,676,761				31,966	
販路拡大・輸出促進課	521,339	10,000	531,339				10,000	
合計	24,529,134	11,077,866	35,607,000	10,696,600	(49,930) 143,000		238,266	県費負担額 288,196

説明【主な事業】		
区分	予算額	内容
一般事業	182,366	(新)鳥取県みどりの食料システム戦略推進事業(化学肥料低減定着対策) 24,000 しっかり守る農林基盤交付金 50,000 鳥取放牧場災害復旧事業 37,400 森林作業路網災害復旧対策事業 46,500 主要水産産地共同利用施設等整備事業 14,466 (新)「食パラダイス鳥取県」輸出多角化等特別強化事業 10,000
公共事業	10,878,000	耕地災害復旧事業 5,500,000 (新)災害激甚化対応復旧特別枠 1,300,000 林道施設災害復旧事業 4,078,000

(注)起債欄の()書きは交付税措置額を除いた額である。県費負担額は、起債欄の()書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7415）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）鳥取県みどりの食料システム戦略推進事業（化学肥料低減定着対策）	0	24,000	24,000				24,000	
トータルコスト	0	24,780	24,780	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	事業制度の周知・説明、補助金事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」では、化学肥料の2割低減を推進目標に掲げている。国は化学肥料の2割低減に向けた取組の定着のため、肥料価格高騰対策事業の追加対策を実施するが、市町村を最小とした地域単位の定額補助であり、国の助成だけでは十分な取組を実施できないため、県が追加支援することで、化学肥料低減に向けた取組を一層進め、肥料価格の変動の影響を受けづらい生産体制の確立を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	事業内容	実施主体	予算額
化学肥料低減定着助成金	化学肥料の2割低減に向けた取組の定着を図るための「地域の取組（※）」に対して、取組に必要な掛かり増し経費から国の助成を差し引いた額の1/3を助成（地域協議会あたり最大166.7万円）。	県再生協議会	24,000
合計			24,000

（※）「地域の取組」（取組内容、対象者等）は、地域協議会が地域の状況に応じて設定可能。

3 事業目標・取組状況・改善点

（1）事業目標

化学肥料使用量の2割低減に向けて取り組む農業者が地域単位で低減対策に取り組む場合、掛かり増し経費の一部の支援を行うことで、農業経営への影響を緩和するとともに、地域の実情に合わせた化学肥料使用量の低減技術の定着の推進を図る。

（2）取組状況・改善点

- ・世界的な穀物需給の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアのウクライナ侵攻に伴い、化学肥料が高騰した。そのため、昨年秋の肥料価格高騰緊急対策事業により、化学肥料使用量の2割低減に向けて取り組む農業者の肥料費上昇分の一部支援を行った。
- ・肥料価格は依然高い水準にあり、さらに化学肥料低減に向けた取組を進めていく必要がある。そのため、化学肥料低減に向けた地域単位の取組を支援する。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課(内線:7326)

1目 農地総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考											
				国庫支出金	起債	その他	一般財源												
しっかり守る 農林基盤交付金	310,000	50,000	360,000				50,000												
トータルコスト	327,154	50,780	377,934	(補正に係る主な業務内容) 予算管理、補助金事務、技術指導															
従事する職員数	2.2人	0.1人	2.3人																
事業内容の説明																			
<p>1 事業の目的、概要 令和5年台風第7号により被災した農地、土地改良施設、林道の早期復旧に対応するため、国庫補助事業等の対象とならない小規模な災害復旧に要する経費を市町村に交付する。</p>																			
<p>2 主な事業内容 市町村による台風第7号による農地及び農業用施設の復旧支援(応急工事等) 被災箇所:鳥取市、八頭町、三朝町ほか 農地・水路への土砂流入、畦畔崩落など</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>工種</th> <th>被災自治体</th> <th>被災概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">災害復旧枠</td> <td>農地</td> <td>鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町 伯耆町、日南町、日野町</td> <td>農地への土砂流入 畦畔の崩落 など</td> </tr> <tr> <td>農業用施設</td> <td>鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町 日野町</td> <td>水路の土砂埋没 道路の法面崩落 など</td> </tr> </tbody> </table>									区分	工種	被災自治体	被災概要	災害復旧枠	農地	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町 伯耆町、日南町、日野町	農地への土砂流入 畦畔の崩落 など	農業用施設	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町 日野町	水路の土砂埋没 道路の法面崩落 など
区分	工種	被災自治体	被災概要																
災害復旧枠	農地	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町 伯耆町、日南町、日野町	農地への土砂流入 畦畔の崩落 など																
	農業用施設	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町 日野町	水路の土砂埋没 道路の法面崩落 など																
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>(1) 事業目標 小規模な農林業生産基盤の整備及び小規模な災害復旧に要する経費を市町村に助成し、優良農林地の維持・保全を支援することで農林業及び農山村の振興を図る。</p> <p>(2) 取組状況・改善点 平成21年度の事業創設以来、各市町村において本交付金を活用した各種整備・補修及び災害復旧等を積極的に進めている。</p>																			

令和5年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

1 項 農林水産施設災害復旧費

農地・水保全課 (内線：7323)

1 目 耕地災害復旧費

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 耕地災害復旧事業	639,001	5,500,000	6,139,001	5,468,500	<1,100> 22,000		9,500	県費負担 10,600
トータルコスト	667,070	5,500,780	6,167,850	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.6人	0.1人	3.7人	申請書の審査・補助金の支払い、国との調整				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和5年台風第7号により被災した農地や農業用施設を速やかに復旧する。

2 主な事業内容

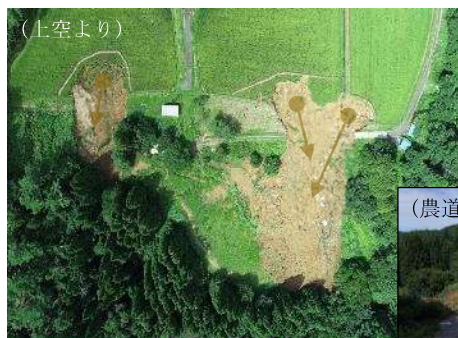
令和5年台風第7号により被災した農地及び農業用施設を速やかに復旧する。

被災箇所：農地への土砂流入、畦畔崩壊等―八頭町姫路、鳥取市佐治町、三朝町木地山 ほか

農業用施設(水路、農道、頭首工等)の崩壊等―八頭町麻生、鳥取市佐治町、三朝町助谷 ほか

畦畔の崩壊による農地、農道への土砂流入 (八頭町姫路)

農道の崩落、流出 (三朝町助谷)



(単位：千円)

事業名		補正前	補正	計
補助	耕地災害復旧事業			
	現年災(団体営)	523,065	5,400,000	5,923,065
	現年災(県営)	8,000	100,000	108,000
補正に係るもの 計		531,065	5,500,000	6,031,065

(1) 事業要件

1箇所あたり事業費40万円以上
施設においては受益戸数2戸以上など

(2) 補助率

基本補助率 農地：50%、施設：65%
※農家負担に応じて嵩上げあり(農地～90%、施設～99%)

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

被災した農地や農業用施設の早期復旧を図る。

(2) 取組状況・改善点

被災後は速やかに原形復旧し、機能回復を図っている。

(注)起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

1 項 農林水産施設災害復旧費

農地・水保全課（内線：7323）

1 目 耕地災害復旧費

県産材・林産振興課（内線：7297）

2 目 林道施設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) (新) 災害激甚化対応復旧特別枠	0	1,300,000	1,300,000	1,256,000	<600> 12,000		32,000	県費負担 32,600
トータルコスト	0	1,301,559	1,301,559	(補正に係る主な業務内容) 申請書の審査・補助金の支払い、国との調整等				
従事する職員数	0.0人	0.2人	0.2人					

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

異常気象等により激甚化している近年の災害に伴う被害状況を踏まえ、台風第7号や今後発生する災害により被害を受ける農林関連施設の早期復旧等を図るための枠予算を設定する。

2 主な事業内容

甚大な災害により被災した農地・農業用施設、林道施設の原形復旧等を行う。

（単位：千円）

区分	基本補助率	予算額
耕地施設災害激甚化対応復旧特別枠 (実施所属：農地・水保全課)	農地：50%（嵩上げ80%） 施設：65%（嵩上げ90%）	800,000
林道施設災害激甚化対応復旧特別枠 (実施所属：県産材・林産振興課)	奥地幹線林道：65%以上（嵩上げ80%） その他の林道：50%以上（嵩上げ65%）	500,000
合 計		1,300,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

被災した農地・農業用施設、林道施設の早期復旧を図る。

(2) 取組状況・改善点

被災後は速やかに原形復旧し、機能回復を図っている。

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

2 項 土木施設災害復旧費

畜産振興課（内線：7285）

1 目 建設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取放牧場災害復旧事業	3,000	37,400	40,400		<11,220> 22,000		15,400	県費負担 26,620
トータルコスト	3,780	38,180	41,960	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.1人	0.2人	関係機関との調整、委託契約に係る業務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和5年台風第7号により発生した鳥取放牧場の牧野道等の法面崩壊等について速やかに復旧し、機能の回復を図る。






2 主な事業内容

(1) 場所

- ・鳥取放牧場 河合谷牧野（鳥取市国府町雨滝）
- ・鳥取放牧場 俵原牧野（三朝町俵原）
- ・鳥取放牧場 兵円牧野（鳥取市河原町北村）

(2) 復旧工事の内容

（単位：千円）

場所	工事の内容	予算額
鳥取放牧場 河合谷牧野	被災した7箇所のうち2箇所について復旧工事を行う。 ※7箇所のうち5箇所は別事業（耕地災害復旧事業）で対応予定。 牧野道の法面崩壊  	10,400
鳥取放牧場 俵原牧野	被災した2箇所について復旧工事を行う。 管理棟周辺の法面崩壊 県道280号俵原青谷線横の法面崩壊  	11,000
鳥取放牧場 兵円牧野	被災した5箇所について復旧工事を行う。 被災箇所：牧野道の法面崩壊4箇所、牧野道崩落1箇所 牧野道の法面崩壊 牧野道崩落  	16,000
合計		37,400

3 事業目標・取組状況・改善点

令和5年台風第7号による被災箇所の速やかな復旧により、県管理牧野道の復旧を図る。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
 4項 林業費
 2目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7254）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林作業路網災害復旧対策事業	32,000	46,500	78,500	19,500			27,000	
トータルコスト	32,780	47,280	80,060	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.1人	0.2人	補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和5年台風第7号により被災した林業専用道（規格相当）及び森林作業道について、市町村等が緊急に行う復旧作業に要する経費を支援する。

2 主な事業内容

台風第7号により被害を受けた林業専用道（規格相当）、森林作業道の復旧事業 46,500千円
 被災箇所：林業専用道（規格相当）…吉岡谷線（鳥取市） 盛土崩壊、切土崩落
 榎ノ谷線（鳥取市） 切土崩落
 大山葵口線（鳥取市） 盛土崩壊
 山根亀ヶ甲線（八頭町）ほか 盛土崩壊、路面洗堀
 被害箇所：森林作業道……………山宮松ヶ谷線（気高町） 盛土崩壊
 小河内栃ヶ谷線（河原町） 盛土崩壊
 小松谷線（三朝町）ほか 盛土崩壊、路面洗堀

（単位：千円）

事業内容	補助事業者	実施主体	区分	補正前	補正	計	補助率
林業専用道（規格相当）、森林作業道の復旧に係る経費の支援	市町村	市町村 森林組合 林業事業体 造林公社 森林所有者	事業費	50,000	75,000	125,000	○林業専用道 被害額750万円以上 【国庫】 国 1/2、県 2/9 市町村 1/9 【県単】※ 県 1/2、市町村 1/3
			予算額	32,000	46,500	78,500	○森林作業道 【県単】※ 被害額750万円以上 県 1/2、市町村 1/3

※ 被害額750万円未満の実施主体の場合は県補助率1/3

3 事業目標・取組状況・改善点

各市町村において本事業を活用し、早急に復旧作業を進め、間伐等の森林整備が停滞することのないように取り組んでいく。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

1 項 農林水産施設災害復旧費

県産材・林産振興課（内線：7297）

2 目 林道施設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（公共事業） 林道施設災害復旧事業	349,484	4,078,000	4,427,484	3,952,600	<37,010> 87,000		38,400	県費負担 75,410
トータルコスト	351,043	4,080,340	4,431,383	（補正に係る主な業務内容） 国・市町との調整、復旧計画策定・変更・承認、 工事の執行・監督、団体営事業の指導等				
従事する職員数	2.2人	0.3人	2.5人					

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和5年台風第7号により被害を受けた林道施設を速やかに復旧する。

また、側溝・集水桝等の排水施設に多量の土砂が堆積しているため、側溝浚渫等を行い、早期に機能回復を図り、未然に災害を防止する。

2 主な事業内容

被災概要：路体崩壊、路肩崩壊、切土法面崩壊等

被災箇所：鳥取中央線、安蔵線、若桜江府線、三滝線、河合谷線、赤井谷線（鳥取市）、円谷広瀬2号線（倉吉市）栗祖線、北栗祖線、小鹿線、波関俣原線、実光福吉線、福吉木地山線（三朝町）ほか



【円谷広瀬2号線（倉吉市）】
路体崩壊



【北栗祖線（三朝町）】
路体崩壊



【実光福吉線（三朝町）】
路体崩壊

（単位：千円）

事業名		事業主体	補助率	補正前	補正	計	備考	
補助	県営	現年災	県	奥地幹線林道 65%～ その他の林道 50%～ ※激甚災害に指定された場合、 最大98%まで 嵩上げ見込み。	78,000	543,000	621,000	県管理林道の 災害復旧
	団体営	現年災	市町村		196,050	3,515,000	3,711,050	市町管理林道の 災害復旧に 対する補助
単独	県単林道施設災害復旧事業			10,000	20,000	30,000	県管理林道の 小規模災害復 旧及び機能回 復	

3 事業目標・取組状況・改善点

（1）事業目標

○災害で被災した林道を早期に復旧する。

（2）取組状況・改善点

○県、市町等が管理する林道について、異常な豪雨等により被災した場合、林産物の搬出や沿線住民の生計の維持等のため、国の定める林道災害復旧事業を活用し、被災箇所の早期復旧を図る。

（注）起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。